

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 小笠原村立小笠原小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 100-2101  
東京都小笠原村父島字宮之浜道

E-mail : shokuinshitsu@ogashou.ogasawara.ed.jp  
 Website : http://www.ogashou.ogasawara.ed.jp/

児童生徒数：男子 81名 女子 57名 合計 138名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、小笠原の自然、歴史、文化への理解を深め、郷土に対する誇りや愛着を育むよう、父島の地域教材を体験的に学習する教育活動を関係各位の理解と協力のもと、実施している。平成26年度も以下のような自然科学系の探求的な学習と伝統文化を実際に習得する体験的学習を実践した。

【3年】自然環境研究センター（一般財団法人）の全面協力により、小笠原の固有の昆虫について学習する。理科昆虫単元との横断的な指導計画を作成するとともに、絶滅したとされていた固有種オガサワラヒメカタゾウムシの生息地への校外学習も盛り込んだ総合的な学習を展開。また、オガサワラ自然文化研究所（NPO法人）の全面協力により絶滅したとされていた固有種オガサワラオオコウモリの生態を詳しく学ぶ。文化面では、東京都無形文化財「南洋踊り」を南洋踊り保存会（地元サークル）の方々に教わり踊れるようになる。

【4年】マルベリー（父島観光ガイド）の全面協力により、小笠原の固有の植物について学習する。理科「季節と生き物」単元との横断的な指導計画を作成するとともに、フィールドワークを盛り込んだ総合的な学習を展開。海岸と山との植生の違いや季節による変化を観察し、様々な生き物が共生する貴重な自然を実感する。また、小笠原の伝統文化である小笠原太鼓をポニン囃子（地元サークル）の方々に教わり叩けるようになる。

【5年】小笠原海洋センター（NPO法人）の全面協力により、アオウミガメの生態について学習する。理科「動物の誕生」単元との横断的な指導計画を作成するとともに、海洋センターのアオウミガメ保護・調査活動「産卵調査」「卵の移植」「飼育」「放流」などを体験的に学ぶ総合的な学習を展開。学習の成果をビジターセンターにて島民・観光客に向け発表している。また、海上保安庁の協力により、水質汚染について学び、小笠原の海の美しさを守るために自分たちに何ができるのか考える。

【6年】アホウドリ繁殖復元プロジェクト地元メンバーの方々の協力により、絶滅危惧種であるアホウドリについて学習する。また、タコノ葉細工研究会（地元サークル）の全面協力により、タコノ葉細工を実際に作成する活動を通して、伐採から飾り付けまで一連の工程を体験的に学び、タコノ木の植樹を最後に行う。また、理科「生物と環境」単元との横断的な指導計画を作成するとともに、小学校の総合的な学習の総まとめとして、小型船舶での南島現地学習を盛り込んだ学習活動を展開する。

上記の実践により、平成26年度「ユネスコスクールESD優良事例認定書」を文部科学省から頂くとともに、ユネスコスクール世界大会一第6回ユネスコスクール全国大会一において、「ESD大賞審査員特別賞」を受賞した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（時として、放課後・夜の時間や休日の時間を保護者の協力を得て実施）